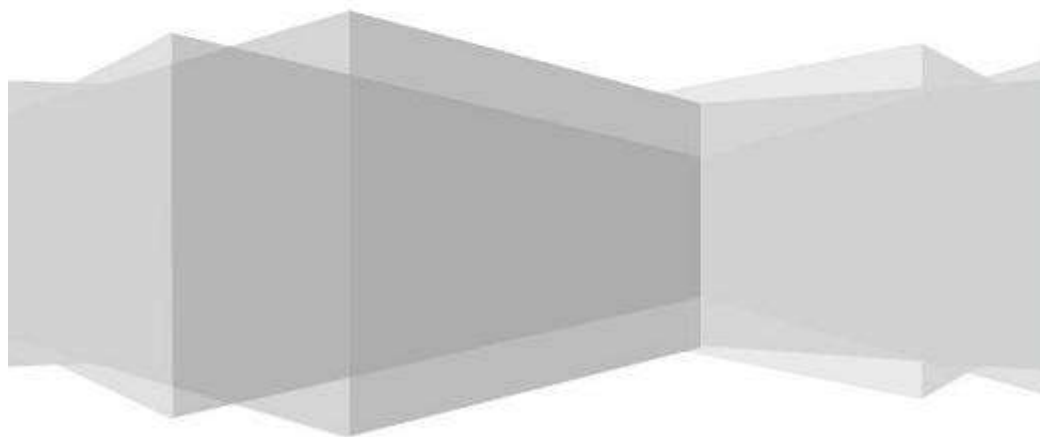

SCAN

第二回合同研究発表会

Contents

挨拶.....	1
プログラム.....	2
各班の発表テーマと概要	
201教室で行う発表.....	3
202教室で行う発表.....	5
203教室で行う発表.....	7
シンポジウム.....	9
SCANの理念と組織図.....	10
協賛および後援・協力のページ.....	11



挨拶



SCAN 第二回合同研究発表会開催にあたって

第二期 SCAN 代表、釧路公立大学三年 四ツ辻賢人

SCAN とは昨年度釧路公立大学の学生によって発足された、地域に向けた政策提言組織です。つながることのなかった学生たちが、北海道地域の発展・活性化に向け、声を上げ、立ち上がり活動している組織で、その中で多くの方々にご支援を頂くことで私たちの活動が成り立っております。先生方をはじめ地域の方々、企業の方々にご理解・ご協力頂いておりますこと誠に感謝申し上げます。2年目の今年度は参加大学5大学、参加人数96名と、その規模を拡大させ、昨年度に引き続き合同研究発表会を開催することができ、私自身非常に嬉しく思います。

昨年度の研究発表以降、地域の方々から様々なお声を頂き、地域と連携した取り組みに、微力ながら携わらせて頂いております。この活動を通し、地域の方々の温かさ、真剣さに触れ、地域への愛着が一層強まりました。今後も北海道の学生がつながり、高め合うことで主体的に地域貢献に関わっていくことを目指し、SCAN が北海道地域を代表する学生団体へと発展することを願います。



地域の創造的な発展に向けて

釧路公立大学学長、地域経済研究センター長 小磯修二

3月11日の未曾有の大震災から我々は何を受けとめるべきか。それは、一人ひとりの国民にとっての大きなテーマです。地域にとっては、この悲劇を歴史的な教訓とし、より活力のある社会の再構築に向けて、地域や日本を変える大切なきっかけと考えていくことが大切です。そこでは、これまでややもすれば平時の発想で構築されてきた常識やルールにとらわれることなく、非常時にも対応できる長期的、多角的な視野と、創造的な発想と思考力が求められます。

もちろん地域において新たな秩序、制度、政策を創造的に構築していくことは、一朝一夕ではできません。小手先のノウハウの習得ではなく、幅広い地域情報の収集と、それを深く分析して課題を抽出し、科学的分析によりその解決に向けての方策を探っていかなければなりません。多くの学生諸君が集い、幅広いテーマでお互いの研究成果をぶつけ合うSCANの合同研究発表会の場がその契機となって、将来多くの学生が地域の問題に関心を持ち、創造的な議論を提起していく機運が釧路、北海道から全国に発信されていくことを心より期待しています。

プログラム

発表形式

日時・会場 : 12月10日(土)・釧路公立大学

発表形式 : PowerPointによるプレゼンテーション

発表時間30分 質疑応答15分 講評10分

研究共通テーマ : 地域の再生

9:00～ 会場入り

9:25～ 司会挨拶 201・202・203教室

9:30～ 発表開始

発表30分 質疑応答15分 講評10分 休憩5分
全16班が、3つの教室にそれぞれ分かれて発表を行います。

第一回 9:30～10:25 第二回 10:30～11:25 第三回 11:30～12:25

お昼休憩～13:30

第四回 13:30～14:25 第五回 14:30～15:25 第六回 15:30～16:25

	201	202	203
第一回 9:30～10:25	神野ゼミB (釧路公立大学)		宮島ゼミB (北海学園大学)
第二回 10:30～11:25	加藤ゼミ (札幌学院大学)	武者ゼミ (札幌大学)	大貝ゼミA (北海学園大学)
第三回 11:30～12:25	中園ゼミB (釧路公立大学)	宮島ゼミA (北海学園大学)	下山ゼミ (釧路公立大学)
第四回 13:30～14:25	島ゼミ (釧路公立大学)	宮前ゼミ (北教大釧路校)	中園ゼミA (釧路公立大学)
第五回 14:30～15:25	平岡ゼミ (北教大釧路校)	鏡味ゼミ (札幌学院大学)	神野ゼミA (釧路公立大学)
第六回 15:30～16:25	大貝ゼミB (北海学園大学)	神野ゼミC (釧路公立大学)	

16:40～18:10 シンポジウム 大講義室2

18:10～18:40 閉会式 大講義室2

各班の発表テーマと概要（201 教室）

午前の部

釧路公立大学 神野ゼミ B 班
「お魚でまちおこし」

札幌学院大学 加藤ゼミ
「介護システムを通じた農村地域の活性化」

釧路公立大学 中国ゼミ B 班
「釧路における被災者への就労支援と生活再建の課題」

午後の部

釧路公立大学 島ゼミ
「釧路市内の就職状況の現状と考察」

北海道教育大学釧路校 平岡ゼミ
「シクロによる釧路市街地の観光活性化
～スロートーリズムの視点から～」

北海学園大学 大貝ゼミ B 班
「外国人技能実習制度の意義と課題」

第一回

9:30~10:25

釧路公立大学 神野ゼミ B 班
「お魚でまちおこし」

釧路は水産業、石炭産業、パルプ産業の基幹産業を中心に大きな発展を遂げてきた。しかし、現在釧路を取り巻く環境は大きく変化し、衰退してきている。この現状を打開していく上で、私たちは水産業に目を向け、水産業を通してそこから地域全体が活性化するためにはどうすべきかを政策提言する。

第二回

10:30~11:25

札幌学院大学 加藤ゼミ
「介護システムを通じた農村地域の活性化」

日本は急速な高齢化に直面しているが、中でも農村地域の状況は深刻である。高齢者数の増加によって各地で介護が大きな問題となる中、介護保険が導入されたものの、実際には、都市部と農村地域では、介護事業者数や財政負担等に大きな格差がある。

そこで我々は、地域が衰退する中での介護ニーズの増加という厳しい状況に直面する農村地域に注目し、農村介護の実態と課題、「介護システム」を通じた地域活性化案を検討していく。

第三回

11:30~12:25

**北海学園大学 宮島ゼミ A 班
「TPP と北海道の酪農」**

私たちは、日本経済に影響を及ぼすことになりかねない TPP (環太平洋経済連携協定) に注目し、その中でも北海道の酪農をテーマに取り上げることにした。北海道の酪農について、現状をデータから確認し、海外との比較を行う。

また、私たちは TPP 参加による北海道経済への影響を試算した。その結果についてもご紹介する。最後に、私たちに考えた北海道の酪農のあり方について政策提言する。

第四回

13:30~14:25

**北海道教育大学釧路校 宮前ゼミ
「釧路市及び釧路町の学校における、
地域の学習素材の活用に関する実態調査」**

地域の学習素材を生かした体験的な学習活動がますます求められるようになっていく。そのためには、新しい地域の学習素材を見つける必要がある。

そこで私たちは、その前段階として、釧路市及び釧路町の学校における地域の学習素材活用に関する実態の調査を行った。

第五回

14:30~15:25

**札幌学院大学 饒味ゼミ
「中国経済をモデルに北海道の地域再生・復興を考える」**

中国経済は 1980 年頃より著しい経済成長を続けており、これからもその勢いが止まることはないと思われる。

そこで我々は中国経済の成長要因を調べ、さらに北海道経済の各産業について調査し、このふたつを比較することにした。

その結果から我々の住む北海道の地域の再生・復興にはなにが必要なのかを明らかにしていく。

第六回

15:30~16:25

**釧路公立大学 神野ゼミ C 班
「もうひとつの金融のあり方
～コミュニティ金融で地域をおこす～」**

現在、金融機関の多くは、「地域密着型金融」の推進という形で中小企業への融資や、新事業を立ち上げる者への資金援助などの重要性を説いている。しかし、現実には、営利を目的とした収益を見込める企業への融資がほとんどである。

そこで、私たちは、このような営利を最終の目的としない、「地域」の強みを生かしたもうひとつの金融のあり方を提言する。

第三回

11:30~12:25

**釧路公立大学 中国ゼミ B 班
「釧路における被災者への就労支援と生活再建の課題」**

3月11日の東日本大震災の死者、行方不明者は約2万人に上る。その他にも、多くの人が仕事を失い、日常生活を送ることが困難になった。あまり知られていないが釧路にも多くの被災者が避難している。

地域において、行政やNPO等がどのような生活支援、就労支援を行っているか、被災者は現在どのような課題を背負っているかを明らかにし、被災者の就労支援や生活再建につながる政策提言を行う。

第四回

13:30~14:25

**釧路公立大学 島ゼミ
「釧路市内の就職状況の現状と考察」**

近年、釧路市内の就職状況は悪化しているといわれているが、平成23年10月28日(金)の釧路新聞によると、9月の有効求人倍率は0.55倍で、前年同月比の0.16ポイント上昇し、21か月連続で前年を上回ったとある。

その実態を明らかにするため、私たちは釧路市と全国の就職状況のデータを比較し、そのうえで問題点を見極め、釧路市内の就職状況の改善につながるような政策提言を行っていく。

第五回

14:30~15:25

**北海道教育大学釧路校 平岡ゼミ
「シクロによる釧路市街地の観光活性化
～スローツーリズムの視点から～」**

今日、釧路市へ訪れる観光客の大半は阿寒湖畔や釧路湿原などの郊外を目的として訪れている。我々は釧路市の市街地観光の可能性について考える。

人力三輪自転車「シクロ」で市街地観光を展開している市民活動団体のシクロプロジェクトを取り上げる。街をゆっくりと楽しむ観光「スローツーリズム」の視点から、シクロプロジェクトへ活動提言を行う。

第六回

15:30~16:25

**北海学園大学 大貝ゼミ B 班
「外国人技能実習制度の意義と課題」**

現在、外国人技能実習生が企業現場における加工労働の即戦力として機能していることが多い。本来の目的である技能移転があまり行われていないという状況の中で、実習制度は意義があるのか。

また外国人労働力によって地域経済が支えられているという問題なども論じていきたい。

各班の発表テーマと概要（202 教室）

午前の部

札幌大学 武者ゼミ
「札幌ドームにおけるスポーツ振興」

北海学園大学 官島ゼミ A 班
「TPP と北海道の酪農」

午後の部

北海道教育大学釧路校 官前ゼミ
「釧路市及び釧路町の学校における、地域の学習素材の活用に関する実態調査」

札幌学院大学 鏡味ゼミ
「中国経済をモデルに北海道の地域再生・復興を考える」

釧路公立大学 神野ゼミ C 班
「もうひとつの金融のあり方
～コミュニティ金融で地域をおこす～」

第一回

9:30~10:25

202 教室での第一回の発表はありません。

第二回

10:30~11:25

札幌大学 武者ゼミ
「札幌ドームにおけるスポーツ振興」

2004 年の北海道へのファイターズ本拠地移転は、札幌市の経済全般に大きな影響を与え、地域の活性化にも貢献した。そのファイターズの拠点となる札幌ドーム及びその周辺地域に起きた変化などを調査することで、移転によって具体的にどのような経済効果が生まれたのかを知り、地域の発展と現状について理解し、それについての考察をする。

各班の発表テーマと概要（203 教室）

午前の部

北海学園大学 宮島ゼミ B 班
「TPP と北海道の製造業」

北海学園大学 大貝ゼミ A 班
「紋別市を支える水産業の現状と課題」

釧路公立大学 下山ゼミ
「港湾のネットワーク効果分析
～釧路港をめぐる課題と展望～」

午後の部

釧路公立大学 中園ゼミ A 班
「高校生アルバイトの実態についての調査・考察」

釧路公立大学 神野ゼミ A 班
「釧路の若年者の雇用の問題」

第一回

9 : 30 ~ 10 : 25

北海学園大学 宮島ゼミ B 班
「TPP と北海道の製造業」

私たちは、近年話題になっている TPP について、参加することで北海道の経済がどのように変化するかを製造業を主な例として、研究した。また、TPP に参加することによる効果を活かすことで、地域再生に繋がらないかということを考えていく。

第二回

10 : 30 ~ 11 : 25

北海学園大学 大貝ゼミ A 班
「紋別市を支える水産業の現状と課題」

地域活性化について調べるうえで、紋別市に視点をおいて考察する。その中で紋別市の歴史に触れて、水産加工業に特化していった紋別市の経緯と紋別市の統計データや、人口、企業数などを元に、水産加工業の現状と問題点、課題などを挙げ、それに対する解決策を挙げる。

第三回

11:30~12:25

**釧路公立大学 下山ゼミ
「港湾のネットワーク効果分析
～釧路港をめぐる課題と展望～」**

港湾にとって背後地や他港湾とのネットワーク形成は、効果的な物流を図る上で重要な要素である。その分析は国内主要港湾についてのものが多く、北海道、釧路においては十分な研究がなされてきていない。

本研究ではネットワーク効果分析を行うことで港湾ネットワークにおける釧路港の役割を検証し、物流の拠点として機能するための政策提言を行う。

第四回

13:30~14:25

**釧路公立大学 中園ゼミ A 班
「高校生アルバイトの実態についての調査・考察」**

今年の六月に釧路管内の進路多様化高校でキャリア支援の活動を行った。そこで、アルバイトをしている高校生が多いということを確認し、その実態について調査と研究を行うことにした。厳しい雇用情勢が彼ら／彼女らを取り巻く中、どのような労働条件で、またどのような理由や目的でアルバイトを行っているのか。そして学校生活や就職にどのような影響を及ぼしているのかを高校生へのアンケート調査を基に考察していく。

第五回

14:30~15:25

**釧路公立大学 神野ゼミ A 班
「釧路の若年者の雇用の問題」**

今日、長期化する不況の影響で完全失業率の上昇や有効求人倍率の低下など、様々な雇用問題が取り沙汰されている。現在の日本では、若年雇用問題として「フリーター・ニートの増加」が社会問題となっている。

そこで私たちは釧路の若年者、とりわけフリーター・ニートなどを中心に、彼らの雇用促進に繋がる政策を提言していく。

第六回

15:30~16:25

203 教室での第六回の発表はありません。

シンポジウム

地域再生フォーラム

「北海道から考える東日本大震災」

パネリスト

釧路公立大学学長、地域経済研究センター長 小磯 修二氏

釧路市総務部総務課防災危機管理主幹 佐々木 信裕氏

釧路公立大学経済学部経済学科3年 阿部 美奈氏

慶應義塾大学環境情報学部一ノ瀬友博研究室 清水 健佑氏

釧路公立大学経済学部准教授 下山 朗 (コーディネーター)

平成23年3月11日、日本を大きな震災が襲った。東北をはじめ多大な被害を受け、その被害額の試算は阪神・淡路大震災を遥かに上回り、戦後最大の自然災害と言われている。ここ釧路でも釧路川沿いが浸水するなど、北海道民にも深く記憶に刻まれた悲劇であった。

震災発生からおよそ9か月が経過した今、地域住民は何を感じ、何をすべきなのか。パネリストの方々に様々な視点・観点からそれぞれの立場で何を行い、今後何を行っていくのか、地域住民である私たちに何ができるのか、述べていただき、その中で地域の方々と共に改めて考えていく。

“SCAN”の関連図と組織図

関連図への思い・理念

- 学生

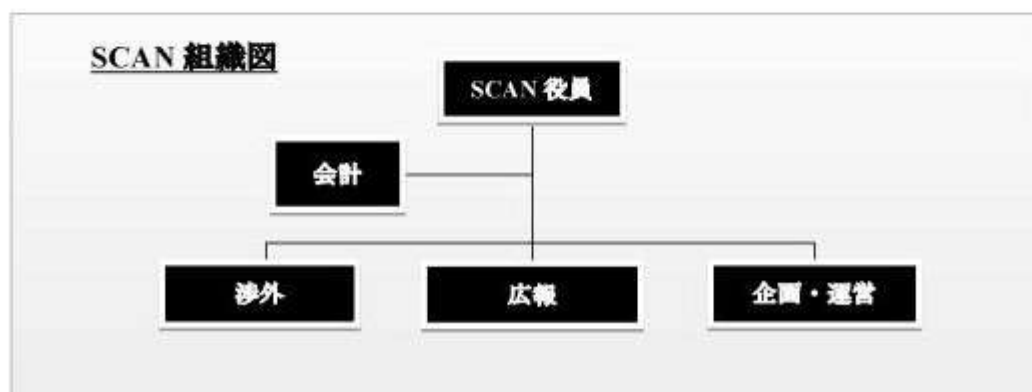
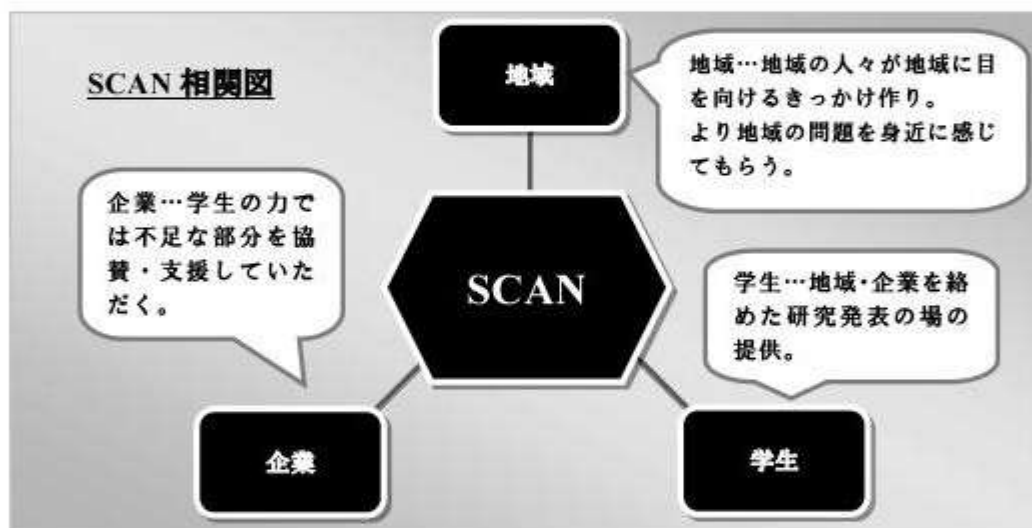
SCANは、地域の大学を一つにして、学生同士が競い合える環境、また知識の共有が出来る環境を作ります。

- 企業

SCANは、企業の方々に助力いただくことで活動規模の拡大、質の向上を図ります。

- 地域

SCANは、地域の諸問題について共に考えるきっかけと繋がりを創造することで、政策立案の還元、地域問題の啓発活動など、より大きな力で地域へ貢献していきます。



第二期 SCAN 運営委員

《役員》

SCAN 代表	四ツ辻 賢人	(釧公大・下山ゼミ)
SCAN 副代表	菊池 暢貴	(釧公大・下山ゼミ)
	高橋 司	(釧公大・下山ゼミ)

《渉外》

渉外代表	切石 亮太	(釧公大・下山ゼミ)
渉外担当	大高 誠之	(釧教大・平岡ゼミ)
	木島 麻衣	(釧教大・平岡ゼミ)
	野崎 卓哉	(釧公大・下山ゼミ)
	本橋 優介	(釧教大・平岡ゼミ)

《広報》

広報代表	穂苺 拓巳	(釧公大・下山ゼミ)
広報担当	小林 滯	(釧公大・中園ゼミ)
	清水 榮幸	(釧公大・島ゼミ)
	千葉 直人	(釧公大・島ゼミ)
	藤井 ひかる	(釧公大・下山ゼミ)

《企画・運営》

企画・運営代表	佐々木 泰輔	(釧公大・神野ゼミ)
企画・運営担当	清實 あゆみ	(釧公大・神野ゼミ)
	西 輝希	(釧公大・中園ゼミ)
札幌支部 担当	西谷 晃成	(札学院・加藤ゼミ)

《会計》

会計代表	高橋 奈々未	(釧公大・下山ゼミ)
------	--------	------------

(五十音順)

SCAN@BLOG・Twitter

<http://ameblo.jp/gakuseiscan/>
http://twitter.com/#!/scan_946

SCANのホームページ

<http://scan946.web.fc2.com/>

SCAN@Mail

SCAN に関する感想、意見、応援メッセージなどありましたら、下記アドレスまで気軽にご連絡ください。

scan946@yahoo.co.jp

大学へのアクセス方法


《くしろバス》

釧路駅前④乗り場 文苑・公住線12番
 釧路駅前 8:25 発 ～ 釧路公立大学前 8:41 着

釧路駅前④乗り場 美原線65番
 釧路駅前 8:50 発 ～ 釧路公立大学前 9:06 着



釧路公立大学 〒085-8585
 北海道釧路市戸野4丁目1番1号
 TEL 0154-37-3211



Sophisticated Community and

SCAN

Academics for Networking

Designed by: 藤田 嵩大 (網公夫・下山ゼミ)

SCAN

Sophisticated Community and Academics for Networking

第二回合同研究発表会 パンフレット

2011年 11月 30日

発行/SCAN 運営委員

発行責任者/四ツ辻賢人

編集/小林浩・清水栄幸・穂苅拓巳

印刷/株式会社藤プリント